

大学入学共通テストにおける記述式問題導入見送りに伴う

「予告」の変更について

令和2年1月17日
東 北 大 学

令和元年12月17日（火）萩生田光一文部科学大臣記者会見において、令和3年度入試から開始の大学入学共通テストにおいて「国語」「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・A」に導入予定の記述式問題の出題が見送られることが表明されました。それに伴い、高大接続改革に関連して東北大学がすでに公表している予告を以下のように変更いたします。

1. 平成33年度(2021年度)東北大学入学者選抜における「AO入試Ⅲ期」の継続について (予告)(平成30年7月26日公表)

- 平成33年1月に大学入試センター試験に代わる大学入学共通テストが開始され、一部の科目で記述式問題が導入される予定となり、大学への成績提供については、記述式問題の採点に要する期間を確保するため、現行の大学入試センター試験よりも「1週間程度遅らせる方向で検討する」とされていました。これを受け、本学では、第1次選考について下記の予告を行いました。このたびの導入見送りを受け、以下のように変更いたします。

【変更前】

- 第1次選考は原則として行わないように努めます。
- やむを得ず第1次選考を行う学部・学科等においては、第1次選考の資料の一つとして、志願者が自己採点した大学入学共通テストの成績（マークシート式問題のみ）を利用します。
- 記述式問題の自己採点結果は第1次選考の資料とはせず、報告も求めません。
- 自己採点による得点が大学入試センターから提供される正式な得点と必ずしも完全には一致しない場合が予想されるため、1) 現行よりも第1次選考合格者の人数を多くすること、2) 何らかの形で「自己採点利用方式における公平性を保つための措置」を加えることを検討しています。

【変更後】

- 成績提供日程およびそれに伴う入試日程の問題が解消され、大学入学共通テストの成績をAO入試Ⅲ期（総合型選抜）の第1次選考に用いることが可能となった場合、「予告」を撤回し、現状のアドミッションズ・オフィス入学試験（AO入試）における第1次選考の方法を踏襲します。
- 第1次選考の方法を含め、受験生の準備に影響を及ぼさない程度の変更が生じる場合には、例年通り、令和2年6月公表予定の「令和3年度（2021年度）入学者選抜要項」に反映させます。

2. 平成 33 年度(2021 年度)入試における本学の基本方針について(予告)(平成 30 年 12 月 5 日公表)

- 1. 大学入学共通テストへの対応 (2) 記述式問題の活用 (一般選抜及び総合型選抜 [現行 AO 入試Ⅲ期]) を削除します。

(補足説明)

上記の取扱いについては、以下の URL をご参照ください。

- ・ 「平成 33 年度 (2021 年度) 東北大学入学者選抜における「AO 入試Ⅲ期」の継続について (予告)」 (平成 30 年 7 月 26 日公表)
URL: <http://www.tnc.tohoku.ac.jp/images/news/H33AO3keizoku.pdf>
- ・ 「平成 33 年度 (2021 年度) 入試における本学の基本方針について (予告)」 (平成 30 年 12 月 5 日公表)
URL: <http://www.tnc.tohoku.ac.jp/images/news/H33housin.pdf>